



# 希望園では 布おむつを 使っています。

〈保育所保育指針〉にあるように、保育所で最も大事なことのひとつに  
【子どもの最善の利益】があります。

希望園では、その考えを基に『子ども第一の保育』を大切にしています。

保育の中で布おむつを使う理由も

『子ども第一』を大切にしているからこそなのです。

では、どうして『子ども第一』だから“布おむつ”なのか？

普段は布おむつをご覧になる機会もあまりないかと思いますが、

『布おむつってどんなもの？』

『布おむつを使うということは子どもにとってどうなのかしら？』

簡単に紹介したいと思います。

社会福祉法人 希望園



## 布おむつってどういうもの？

その名の通り、布で作られたおむつです。

紙おむつと違い、一度の排泄でおむつが汚れた感覚がしっかりと分かるので、子ども達もおしっこやうんちをした後に気持ち悪さを感じることが出来ます。



## 布おむつは肌に優しい！また、不快がわかります！



子ども達の肌はとてもデリケートです。肌触りのよい布オムツをしてあげると子ども達も気持ち良さそうです。

頻繁に替えてあげることで、清潔を保つことができます。

また、濡れるととても気持ち悪いので子ども達も泣いて訴えたり、おむつをポンポンと叩いて知らせたりする子もいます。

『不快』を感じるにより、回数を重ねるうちに汚れる前に伝えられるようになったりとトイレトレーニングに繋がることもあります。





## 子どもの状態が良く分かります！

濡れたら交換する布おむつ。おしっこやうんちの回数も分かるので、子どもの排泄のリズムを知ることが出来ます。

また、「いつもよりおしっこの回数が少ないな...」「おしっこの量も違うな...」  
というように、普段の状態との違いも分かりやすいので、体調を見る時の目安にもなりますね。



## スキンシップを大切にしています！

布オムツの場合、濡れたらすぐに取り替えてあげることが必要ですが、その度にスキンシップが増えるとも言えます。

顔と顔をしっかりと見合わせて、肌と肌を触れ合わせておむつ交換をする時間は、子ども達にとっても貴重なスキンシップの時間なのです。

こうしたスキンシップを通して子どももコミュニケーションを知り、保育士もおむつ交換を子どもと一対一でコミュニケーションが取れるとても大切な時間のひとつとしています。





現在5歳のお友達の保護者の方々にお話を聞きました。

## 保護者からの声

希望園に入園し、実際に布おむつを使った感想を、お家の方々にいただきましたので、どうぞご覧ください。

交換してもらったおむつの量を見て、「先生が我が子にこれだけ手を掛け、愛情を掛けてくれているんだ」と実感しました。また、帰ってからの洗濯の時には、おむつを洗い、一枚一枚干しながら、自分も育児をしているんだと感ずることが出来た。おむつの量が減っていく中で、我が子の成長を感じると嬉しかったです。

出産した産科で、布おむつは股関節にも良いと言われていました。2歳半で入園の上の子は入園してから布おむつを使い、0歳児からの入園だった下の子は最初から布おむつでしたが、おむつが外れるのも下の子の方が早かったように思います。1日保育園に預けているという罪悪感のようなものを感じてしまう事もありましたが、乾いたおむつを畳みながら、園と一緒に子育てをしているという気持ちにもなれました。

布おむつで、濡れた感覚などもしっかりと分かるためか、おむつが外れるのが早かったと思います。園でうんちをしても、先生が下洗いをしてくれるので、帰ってからの洗濯の時にもとても助かりました。震災当時、紙おむつが買えない状況の時も、布おむつがあって助かったという記憶を思い出します。

ご協力いただきました保護者の皆さん、ありがとうございました！！